

OHMI KYOGEN ZUKAN 2016

平成27年度滋賀県アートコラボレーション事業
地域ホール共働モデル事業

琵琶湖創生にまつわる
笑撃の事実が明かされる？

わかぎるふ書き下ろしの
新作狂言が
おうみ狂言図鑑に登場！

おうみ 狂言 2016 春 鑑



A 1/24 (日) 14:00 開演 (13:30 開場)
藤樹の里文化芸術会館
高島市安曇川町上小川 106 ☎0740-32-2461
【演目】「口真似」「昆布売り」/
新作狂言：続・鮎ずしの憂うつ〜でっち羊羹の陰謀〜

B 2/7 (日) 14:00 開演 (13:30 開場)
ハーティーセンター秦荘
愛知郡愛荘町安孫子 822 ☎0749-37-4110
【演目】「附子」「無布施経」/
新作狂言：続・鮎ずしの憂うつ〜でっち羊羹の陰謀〜

C 3/20 (日) 14:00 開演 (13:30 開場)
浅井文化ホール
長浜市内保町 2500 ☎0749-74-4000
【演目】「清水」「二人袴」/
新作狂言：おうみのおかげ

D 3/21 (月・祝) 14:00 開演 (13:30 開場)
東近江市立八日市文化芸術会館
東近江市青葉町1番50号 ☎0748-23-6862
【演目】「萩大名」「柿山伏」/
新作狂言：おうみのおかげ

E 3/27 (日) 14:00 開演 (13:30 開場)
守山市民ホール
守山市三宅町 125 番地 ☎077-583-2532
【演目】「禰宜山伏」「寝音曲」/
新作狂言：おうみのおかげ

入場料 / 全席指定(税込)
一般 2,000 円 / 青少年 (25歳以下) 1,000 円
11/7 (土) より発売開始
※未就学児童入場不可 ※当日 500 円増
◇チケットラリーで
茂山家オリジナルグッズプレゼント!
(ストラップ・てぬぐい)

- チケット取扱**
- A 藤樹の里文化芸術会館
 - B ハーティーセンター秦荘
 - C 浅井文化ホール
 - D 東近江市立八日市文化芸術会館
 - E 守山市民ホール
 - A B C D E ローソンチケット (☎0570-084-005) L=51680、KEIBUN、互助会の取扱は各会場にお問い合わせ願います。

■主催：滋賀県 / (公財) 滋賀県文化振興事業団 / 高島市 / 高島市教育委員会 / (一社) 愛荘町文化協会 / 浅井文化ホール / (公財) 東近江市地域振興事業団 / (公財) 守山市文化体育振興事業団
■後援：滋賀県教育委員会 / 長浜市 / 長浜市教育委員会 / 守山市 / 守山市教育委員会 / 東近江市 / 東近江市教育委員会 / 愛荘町 / 愛荘町教育委員会 / FM 滋賀
■助成：(公財) 西川文化財団 ■制作協力：株式会社童司カンパニー



おうみ狂言図鑑とは?

2011年茂山千五郎家の協力を得て、滋賀県を題材にした新作狂言を制作し今回で6作目となります。これらの作品を「おうみ狂言図鑑」としてコレクションし、滋賀県だけでなく全国でも広く上演され、狂言の「笑い」と「近江」の魅力を発信し、みなさんに親しまれていくことを目指します。

AB 新作狂言

作：大和屋かおる

「続 鮒ずしの憂うつ〜でっち羊羹の陰謀」

今や名実ともに近江の名産となった鮒ずしは、得意の絶頂にあったが、やはりニオイゆえに女にもてえないとの「憂うつ」があった。そのため近江食文化の人気を二分する「近江牛」が女性にモテモテと聞き、地団駄を踏んでうらやましが。そこで近江食材の後輩にあたるでっち羊羹を呼び出して、次にモテる妙案を練ろうと考えるが…。



CDE 新作狂言

作：わかぎふぶ

「おうみのおかげ」



親同士が決めたいいはずけと結婚した男がいざ女房と暮らし始めると、なんとも料理が下手で閉口する。しかし生まれつき気の弱い性格なので面と向かって「まずい」とは言えない。その上、新妻は女相撲の大関で男顔負けの豪傑ときている。仕方なくまずい料理を毎日食べて暮らしていたのだが、ある日、女房が相撲の奉納試合のため近江に行くことになった。男は荷物持ちを命ぜられ着いていくのだが、なんと近江の宿には腕のいい料理人が居て、毎日美味しい食事が出てくる。男はその生活をなんとか続けようと女房を口説くのだが…

A 1/24 (日) 14:00 開演 (13:30 開場)

藤樹の里文化芸術会館

☎0740-32-2461

口真似 (くちまね)

主人は良い酒をもらったので、酒の相手をしてくれる人を探してこいと太郎冠者に命じます。しかし太郎冠者の連れて来たのは酒癖が悪くて有名な者だったので太郎冠者を叱ります。仕方がないのでその男を座敷に通すように命じ、以後は自分の言う通りする通りに振る舞って余計なことはするなという主人。そう命じられた太郎冠者は…



昆布売 (こぶうり)

供を連れず自ら太刀を持って出かけた大名が昆布を売る商人に声をかけ同道を強いら、脅して太刀まで持たせま。従者扱ひされた昆布売りはやがて我慢が出来なくなり太刀を抜いて逆に大名を脅し立場を逆転させます。その脅しはだんだんとエスカレートしていき…



B 2/7 (日) 14:00 開演 (13:30 開場)

ハーティーセンター秦荘

☎0749-37-4110

附子 (ぶす)

太郎冠者・次郎冠者に留守番を言いつけた主人。桶の中身は附子という猛毒なので絶対に近づかないように、と言って出かれます。二人がこわごわ桶の中を覗き込むと、中身はおいしいような砂糖。結局すべて平らげてしまい、言い訳のために主人秘蔵の掛け軸や天目茶椀を壊して大声で泣きながら主人を待ちます。帰宅後、激怒する主人に二人は…



お布施経 (おせないきょう)

貧しい寺の僧が檀家(だんか)で経をあげますが、お布施が見当たりません。そこで檀家の主人を呼び出して説法を聞かせ、端々で「ふせ」の音を強調して遠回しに催促するものの、主人は気付かぬまま。どうにかしてお布施の欲しい僧は…



C 3/20 (日) 14:00 開演 (13:30 開場)

浅井文化ホール

☎0749-74-4000

清水 (しみず)

主人から茶の湯で使う水を野中の清水へ汲みに行くように命じられた太郎冠者は行きたくないで鬼に襲われたふりをして帰って来ます。主人は太郎冠者の置いてきてしまった秘蔵の手桶が惜しく、自ら清水へ行くと言いだしたので太郎冠者は先回りし鬼の面をかぶって主人を脅しますが…



二人袴 (ふたりばかま)

若い鯉(むこ)が鯉入り(夫が結婚後に妻の実家に挨拶に行く中世の儀式)に出かけますが、心細いので父親に付き添いを頼みます。舅(しゅうと)の家の前で父親は鯉に礼装の袴をはかせてやり、自分は外で待ちますが、舅の家の太郎冠者が見つかり家へと招かれます。しかし、礼装の袴はひとつしかありません。そこで袴を親子で交互にはいてひとりずつ挨拶することで何とか取り繕いますが、舅に「二人で一緒に」と言われてしまいます。さて、親子はどう切り抜けるのでしょうか。



D 3/21 (月・祝) 14:00 開演 (13:30 開場)

東近江市立八日市文化芸術会館

☎0748-23-6862

萩大名 (はぎだいまよう)

長らく在京している田舎大名が退屈のあまり遊山にでかけようと太郎冠者に相談します。太郎冠者は下京のとある庭に宮城野の萩が今盛りと咲いているのでそれを見物に行こうと誘います。ところがその庭の持ち主は大の風流者で歌を詠むことを所望します。歌を詠むという嗜みのない大名は太郎冠者に和歌を教えますが…



柿山伏 (かきやまぶし)

修行帰りの山伏が空腹のため道端の柿の木に登り勝手に柿を食べていると畑主がやってきます。畑主は木の陰に隠れた山伏を見つけるとからかってやろうと烏や猿だと言って鳴きまねをさせます。しまいには鷹のようだから空を飛ぶだろうと困らせます。囃され、のせられた山伏は鷹の鳴き真似をしながら木から飛びおりたものの…



E 3/27 (日) 14:00 開演 (13:30 開場)

守山市民ホール

☎077-583-2532

禰宜山伏 (ねぎやまぶし)

禰宜が茶屋で休んでいるところに山伏が来合わせます。山伏が禰宜に対してなにかと横柄で乱暴な態度をとるので茶屋の亭主がみかねて二人に呪力の競い合いをすすめます。大黒の像を持ち出して自分の方を向かせた方が勝ち。さてこの対決の行方は…?



寝音曲 (ねおんぎょく)

主に呼び出されて謡を謡うよう命じられた太郎冠者は今後度々謡わされてはかなわないと、酒を飲んで女房の膝枕でないと謡えないと嘘をつきます。それではと主は太郎冠者に酒を飲ませ、自分の膝を貸してやるというので仕方なく寝ながら謡い始めた太郎冠者ですが…

